

科目責任者 越前 宏俊(薬物治療学教室)

■ 教育目的

医療薬学の基本および主な疾患の病態生理の概略を把握し、病態に即した薬物治療選択の組み立てが理解できる能力を養う。主要な薬物について薬理作用、病態が体内動態におよぼす影響、重要な有害事象などについて、マルチメディアを活用し学習する。

■ 学習到達目標

1. 検査結果が解釈できる
2. 神経・精神疾患の薬物療法を説明できる
3. 薬物治療における新しい薬剤師像がイメージできる

■ 準備学習（予習・復習）

予習：シラバスに提示した講義内容の予備調査

復習：当該日の講義内容の確認と補足調査

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	臨床画像情報学	画像診断	C14 (1) -2-1
2	臨床検査学－1	臨床検査総論、肝機能検査	C14 (1) -2-1
3	臨床検査学－2	腎臓・呼吸・心臓機能検査	C14 (1) -2-2～4
4	臨床検査学－3	血液凝固・内分泌代謝関連検査	C14 (1) -2-5～6
5	臨床検査学－4	感染・炎症および悪性腫瘍関連検査、他	C14 (1) -2-7～10
6	神経・筋の疾患－1	脳血管障害	C14 (3) -6-1～6
7	神経・筋の疾患－2	てんかん、片頭痛、重症筋無力症	C14 (3) -6-1～6
8	神経・筋の疾患－3	アルツハイマー病	C14 (3) -6-1～6
9	神経・筋の疾患－4	パーキンソン病	C14 (3) -6-1～6
10	神経・筋の疾患－5	末梢神経疾患・脳腫瘍	C14 (3) -6-1～6
11	精神疾患－1	うつ病性障害、双極性障害	C14 (4) -1-1～4
12	精神疾患－2	統合失調症	C14 (4) -1-1～4
13	精神疾患－3	不安神経症、不眠症治療、心身症	C14 (4) -1-1～4
14	精神疾患-4	精神神経疾患治療の進歩	C14 (4) -1-1～4
15	補遺	総合演習	

■ 授業分担者

A・B 組共通／1-5：庄司優、6-10：石橋賢一、11-15：越前宏俊

■ 成績評価方法

期末・中間試験（90％）および出席状況・授業態度（10％）で総合評価を行う。レポートなどあればそれも考慮する。

■ 教科書

「今日の診療」（MY-PORT >医療人 GP サイト内）、講義プリント

神経・筋の疾患;『Navigate シリーズ：神経疾患』（医学書院）

■ 参考書

『図解 薬理学 第2版』越前 宏俊（医学書院）

『標準医療薬学シリーズ「薬物治療学」』越前 宏俊・鈴木 孝 編（医学書院）

『今日の治療薬 2013』浦部 晶夫・島田 和幸・川合 眞一 編（南江堂）

『標準臨床検査医学 第4版』高木 康 編（医学書院）